

第4章 介護保険事業の現状

1 給付実績の現状

(1) 居宅サービス

ア 訪問介護（介護予防を含む）〔ホームヘルプサービス〕

心身の障害等のため日常生活を営むのに支障がある高齢者のいる家庭に対してホームヘルパーを派遣し、買い物、掃除等の生活援助、入浴等の身体介護を行い、高齢者が健全で安らかな生活を営めるよう支援するとともに、介護者の負担を軽減することを目的としています。

【現状】

サービス提供事業者については、従来、社会福祉法人が実施してきましたが、介護保険が導入され、民間事業者も事業を開始し、多様なサービス提供主体からサービスが提供されています。

全体の利用回数は、平成21年度は49,510回、平成22年度は51,716回と増加しており、ほぼ計画に沿って推移しています。

【課題】

利用者本人の状態像や家族環境、生活環境に応じて適切なサービスが提供されるように、サービス提供事業者やケアマネジャーと連携し、サービスの質の確保に努めることが必要です。

今後も高齢者人口の増加に伴い、今後は、要介護者等が増加することが見込まれ、サービス必要量も増加することが予想されます。必要に応じた供給体制の整備について、サービス提供事業者と協議し、併せて訪問介護員（ホームヘルパー）の質の向上を図ることが必要です。

訪問介護（ホームヘルプサービス）の利用状況

| | 平成21年度 | | 平成22年度 | | 平成23年度(見込) | |
|--------------|--------|-----|--------|------|------------|-----|
| 事業者数 | 13 | | 13 | | 14 | |
| 利用回数 (介護) | 計画 | 計画比 | 計画 | 計画比 | 計画 | 計画比 |
| | 38,346 | | 37,666 | | 40,861 | |
| | 実績 | 98% | 実績 | 106% | 実績 | 99% |
| | 37,557 | | 39,880 | | 40,679 | |
| 利用回数 (予防) | 計画 | 計画比 | 計画 | 計画比 | 計画 | 計画比 |
| | 13,896 | | 14,400 | | 15,336 | |
| | 実績 | 86% | 実績 | 82% | 実績 | 68% |
| | 11,953 | | 11,836 | | 10,452 | |

平成23年度は、3月から8月までの利用実績に基づいた推計値。

イ 訪問入浴介護（介護予防を含む）

通所介護施設等を利用することが困難な寝たきりの高齢者等のいる家庭に移動入浴車で訪問し、入浴サービスを行うことにより、寝たきり高齢者の清潔と健康を保つことを目的としています。

【現状】

本市では、1ヶ所の事業所において訪問入浴サービスが提供されていましたが、平成22年度に事業から撤退をされたため、現在市内にはサービス提供事業者がいない状況です。サービス利用希望者には、近隣の市の事業所と連携をしてサービスを提供しており、また、外出が可能な方についてはデイサービスや介護施設での入浴サービスを利用していただいています。

利用回数は、平成21年度の482回、平成22年度は570回と増加傾向にあります。予防給付におけるサービス提供はありませんでした。

【課題】

だれもお風呂に入るように、寝たきり高齢者等へ入浴サービスを提供することは、生活の質の向上を図るために重要です。外出が困難な方に対して、ニーズに即した入浴サービスを適切に提供していけるように、体制整備を進めていきます。

訪問入浴介護の利用状況

| | 平成21年度 | | 平成22年度 | | 平成23年度(見込) | |
|--------------|--------|-----|--------|-----|------------|------|
| 事業者数 | 1 | | 0 | | 0 | |
| 利用回数 (介護) | 計画 | 計画比 | 計画 | 計画比 | 計画 | 計画比 |
| | 642 | | 633 | | 713 | |
| | 実績 | 75% | 実績 | 90% | 実績 | 123% |
| | 482 | | 570 | | 880 | |
| 利用回数 (予防) | 計画 | 計画比 | 計画 | 計画比 | 計画 | 計画比 |
| | 0 | | 0 | | 0 | |
| | 実績 | | 実績 | | 実績 | |
| | 0 | | 0 | | 0 | |

平成23年度は、3月から8月までの利用実績に基づいた推計値。

ウ 訪問看護（介護予防を含む）

主治医の指示に基づいて、医療機関や訪問看護ステーションの看護師等が高齢者のいる家庭を訪問し、清拭、褥瘡の処置、リハビリテーション等の看護サービスを提供します。

【現状】

訪問看護ステーション以外にも医療機関によって提供される医療保険による訪問看護も引き続き実施されています。

利用回数は、平成21年度は6,155回、平成22年度は4,958回と減少傾向にあり、計画値に対しても下回っています。

【課題】

医療依存度の高い在宅の高齢者が増加しており、複雑・多様化するニーズに対応できるよう、医療機関や医師会等と連携を図りながら、必要なサービス供給体制の確保に努める必要があります。

訪問看護の利用状況

| | 平成 21 年度 | | 平成 22 年度 | | 平成 23 年度(見込) | |
|--------------|----------|-----|----------|-----|--------------|-----|
| 事業者数 | 50 | | 52 | | 53 | |
| 利用回数 (介護) | 計画 | 計画比 | 計画 | 計画比 | 計画 | 計画比 |
| | 7,188 | | 6,923 | | 7,716 | |
| | 実績 | 81% | 実績 | 68% | 実績 | 64% |
| | 5,839 | | 4,698 | | 4,945 | |
| 利用回数 (予防) | 計画 | 計画比 | 計画 | 計画比 | 計画 | 計画比 |
| | 361 | | 374 | | 388 | |
| | 実績 | 88% | 実績 | 70% | 実績 | 64% |
| | 316 | | 260 | | 248 | |

平成 23 年度は、3 月から 8 月までの利用実績に基づいた推計値。

事業者数は、医療機関を含む。

エ 訪問リハビリテーション（介護予防を含む）

通院が困難な方に対して、主治医の指示に基づいて、理学療法士又は作業療法士が高齢者のいる家庭を訪問し、心身の機能回復を図り、日常生活の自立を助けるための機能訓練（リハビリテーション）を提供します。

【現状】

利用回数は、平成 21 年度は 3,285 回、平成 22 年度には 3,261 回となっておりほぼ計画に沿って推移しています。

【課題】

医療依存度の高い在宅の高齢者が増加しており、複雑・多様化するニーズに対応できるよう、医療機関や医師会等と連携を図りながら、必要なサービス供給体制の確保に努める必要があります。

訪問リハビリテーションの利用状況

| | 平成 21 年度 | | 平成 22 年度 | | 平成 23 年度(見込) | |
|--------------|----------|------|----------|------|--------------|------|
| 事業者数 | 35 | | 37 | | 38 | |
| 利用回数 (介護) | 計画 | 計画比 | 計画 | 計画比 | 計画 | 計画比 |
| | 3,014 | | 2,842 | | 3,199 | |
| | 実績 | 96% | 実績 | 99% | 実績 | 115% |
| | 2,907 | | 2,838 | | 3,700 | |
| 利用回数 (予防) | 計画 | 計画比 | 計画 | 計画比 | 計画 | 計画比 |
| | 282 | | 316 | | 354 | |
| | 実績 | 134% | 実績 | 134% | 実績 | 107% |
| | 378 | | 423 | | 378 | |

平成 23 年度は、3 月から 8 月までの利用実績に基づいた推計値。

事業者数は、医療機関を含む。

オ 居宅療養管理指導（介護予防を含む）

通院が困難な高齢者等に対し、医師、歯科医師、薬剤師、管理栄養士、歯科衛生士などが訪問し、療養上の管理や指導を行います。

【現状】

月平均利用者数は、平成21年度の188人から平成22年度には200人となり、増加傾向にあり、ほぼ計画に沿って推移しています。また、医療保険による訪問医療も引き続き行われています。

【課題】

医療依存度の高い在宅の高齢者が増加しており、複雑・多様化するニーズに対応できるよう、医療機関や医師会等と連携を図りながら、必要なサービス供給体制の確保に努める必要があります。

居宅療養管理指導の利用状況

| | 平成21年度 | | 平成22年度 | | 平成23年度(見込) | |
|--------------|--------|------|--------|-----|------------|------|
| 利用者数 (介護) | 計画 | 計画比 | 計画 | 計画比 | 計画 | 計画比 |
| | 200 | | 195 | | 220 | |
| | 実績 | 86% | 実績 | 96% | 実績 | 100% |
| | 172 | | 188 | | 220 | |
| 利用者数 (予防) | 計画 | 計画比 | 計画 | 計画比 | 計画 | 計画比 |
| | 13 | | 14 | | 14 | |
| | 実績 | 123% | 実績 | 86% | 実績 | 50% |
| | 16 | | 12 | | 7 | |

平成23年度は、3月から8月までの利用実績に基づいた月平均。

カ 通所介護（介護予防を含む）〔デイサービス〕

閉じこもりがちな在宅の高齢者等に対し送迎を行い、通所介護施設において入浴や食事等のサービスを提供し、心身機能の維持向上を図るとともに、その家族の身体的、精神的な負担の軽減を図ることを目的としています。

【現状】

平成21年度は23施設でサービスを行っていましたが、2年間で6施設増加し、平成23年度は29施設でサービスを実施しています。

全体の利用回数は、平成21年度の87,829回から平成22年度には94,132回と計画を大幅に上回っており、利用者のニーズに即した施設整備を行っていく必要があります。

【課題】

高齢者個々の心身の状態に応じた柔軟な内容のデイサービスが求められています。また、在宅の介護者の負担軽減や要介護者の心身機能の維持・改善のために、寝たきりや認知症高齢者等の重度の要介護者の通所介護サービスの利用を促進する必要があります。

通所介護(デイサービス)の利用状況

| | 平成 21 年度 | | 平成 22 年度 | | 平成 23 年度(見込) | |
|--------------|----------|------|----------|------|--------------|------|
| 事業者数 | 22 | | 26 | | 28 | |
| 利用回数 (介護) | 計画 | 計画比 | 計画 | 計画比 | 計画 | 計画比 |
| | 60,715 | | 61,118 | | 65,837 | |
| | 実績 | 116% | 実績 | 126% | 実績 | 134% |
| | 70,569 | | 76,748 | | 88,035 | |
| 利用回数 (予防) | 計画 | 計画比 | 計画 | 計画比 | 計画 | 計画比 |
| | 18,288 | | 19,224 | | 20,376 | |
| | 実績 | 94% | 実績 | 90% | 実績 | 81% |
| | 17,260 | | 17,384 | | 16,474 | |

平成 23 年度は、3 月から 8 月までの利用実績に基づいた推計値。

キ 通所リハビリテーション(介護予防を含む)〔デイケア〕

在宅の心身に障害のある高齢者に対し、老人保健施設や医療機関において、心身機能の維持向上や日常生活の自立を助けるためのリハビリテーション等を提供し、在宅生活の支援を行います。

【現状】

平成 23 年度は、6 施設が実施しており、介護給付における利用回数は年々増加しているのに対し、予防給付における利用回数は年々減少傾向にあります。

【課題】

医療依存度の高い在宅の高齢者が増加しており、複雑・多様化するニーズに対応できるよう、医療機関や医師会等と連携を図りながら、必要なサービス供給体制の確保に努める必要があります。また、同じ通所型サービスである通所介護に比べ、通所リハビリテーションは理学療法士や作業療法士によるリハビリに重点が置かれており、要介護者等の障害の程度や認知症の状態に応じて、効果的なサービスが提供されるよう努めていく必要があります。

通所リハビリテーション(デイケア)の利用状況

| | 平成 21 年度 | | 平成 22 年度 | | 平成 23 年度(見込) | |
|--------------|----------|------|----------|------|--------------|-----|
| 事業所数 | 5 | | 5 | | 6 | |
| 利用回数 (介護) | 計画 | 計画比 | 計画 | 計画比 | 計画 | 計画比 |
| | 23,321 | | 21,898 | | 22,846 | |
| | 実績 | 102% | 実績 | 118% | 実績 | 82% |
| | 23,821 | | 25,940 | | 27,954 | |
| 利用回数 (予防) | 計画 | 計画比 | 計画 | 計画比 | 計画 | 計画比 |
| | 9,324 | | 9,660 | | 10,080 | |
| | 実績 | 93% | 実績 | 80% | 実績 | 72% |
| | 8,639 | | 7,695 | | 7,306 | |

平成 23 年度は、3 月から 8 月までの利用実績に基づいた推計値。

ク 短期入所生活介護（介護予防を含む）〔特別養護老人ホームによるショートステイ〕

寝たきりの高齢者等を介護している家族が疾病、冠婚葬祭、出産等の理由により介護が困難になった場合、一時的に特別養護老人ホームへ入所してもらい、介護者の身体的・精神的負担を軽減させることを目的としています。

【現状】

平成21年度は市内4か所の特別養護老人ホームでサービスを提供していましたが、平成22年度に施設整備をし、現在は6か所でサービスを提供しています。利用延日数は年々増加しており、計画値を大きく上回っています。

【課題】

寝たきりの高齢者等の介護に当たる家族の身体的・精神的負担の軽減を図るため、計画的な利用を更に促進することが必要です。

短期入所生活介護（ショートステイ）の利用状況

| | 平成21年度 | | 平成22年度 | | 平成23年度(見込) | |
|--------------|--------|------|--------|------|------------|------|
| 施設数(圏域) | 4(18) | | 5(19) | | 6(20) | |
| 利用日数 (介護) | 計画 | 計画比 | 計画 | 計画比 | 計画 | 計画比 |
| | 16,715 | | 15,809 | | 16,748 | |
| 利用日数 (介護) | 実績 | 110% | 実績 | 120% | 実績 | 127% |
| | 18,315 | | 18,937 | | 21,253 | |
| 利用日数 (予防) | 計画 | 計画比 | 計画 | 計画比 | 計画 | 計画比 |
| | 501 | | 529 | | 559 | |
| 利用日数 (予防) | 実績 | 145% | 実績 | 81% | 実績 | 80% |
| | 729 | | 427 | | 446 | |

平成23年度は、3月から8月までの利用実績に基づいた推計値。

ケ 短期入所療養介護（介護予防を含む）〔老人保健施設等によるショートステイ〕

【現状】

通所リハビリテーションとともに老人保健施設や介護療養型医療施設における在宅支援を目的とした重要なサービスとして提供されています。

利用延日数は、平成21年度の3,305日から平成22年度には4,135日となり増加傾向にあります。

【課題】

介護保険制度下においても、老人保健施設や介護療養型医療施設の在宅支援機能は一層重要となります。介護療養型医療施設は、療養病床の転換計画に伴い、今後計画的に削減されていく予定ですが、利用者ニーズに即した十分なサービスが提供していけるように、今後とも、介護にあたる家族の身体的・精神的負担の軽減を図る観点から、計画的な利用を更に促進することが必要です。

短期入所療養介護（ショートステイ）の利用状況

| | 平成 21 年度 | | 平成 22 年度 | | 平成 23 年度(見込) | |
|--------------|----------|------|----------|-------|--------------|-------|
| 施設数(圏域) | 2(16) | | 3(17) | | 3(17) | |
| 利用日数 (介護) | 計画 | 計画比 | 計画 | 計画比 | 計画 | 計画比 |
| | 2,898 | | 2,969 | | 3,160 | |
| 実績 | 111% | 139% | 92% | 実績 | 実績 | |
| | | | | 3,218 | 4,118 | 2,900 |
| 利用日数 (予防) | 計画 | 計画比 | 計画 | 計画比 | 計画 | 計画比 |
| | 48 | | 56 | | 58 | |
| 実績 | 181% | 30% | 190% | 実績 | 実績 | |
| | | | | 87 | 17 | 110 |

平成 23 年度は、3 月から 8 月までの利用実績に基づいた推計値。

コ 特定施設入居者生活介護（介護予防を含む）

有料老人ホームや軽費老人ホームなどに入所している高齢者に対し食事や入浴、排泄などの日常生活の支援や機能訓練を行います。

【現状】

平成 21 年度に市内 1 か所の養護老人ホームを特定施設として整備しました。

特定施設は市内 4 施設、圏域内では 11 施設あります。

利用人数は、施設整備により、平成 21 年度の 64 人から平成 22 年度には 79 人と増加しています。

【課題】

特別養護老人ホームや有料老人ホーム、軽費老人ホーム等圏域内の施設の整備状況に併せ、ニーズを見極め計画的に整備していく必要があります。

特定施設入居者生活介護の利用状況

| | 平成 21 年度 | | 平成 22 年度 | | 平成 23 年度(見込) | |
|--------------|----------|------|----------|-----|--------------|-----|
| 施設数(圏域) | 4(11) | | 4(11) | | 4(11) | |
| 利用者数 (介護) | 計画 | 計画比 | 計画 | 計画比 | 計画 | 計画比 |
| | 62 | | 62 | | 62 | |
| 実績 | 81% | 113% | 140% | 実績 | 実績 | |
| | | | | 50 | 70 | 87 |
| 利用者数 (予防) | 計画 | 計画比 | 計画 | 計画比 | 計画 | 計画比 |
| | 16 | | 16 | | 16 | |
| 実績 | 88% | 56% | 38% | 実績 | 実績 | |
| | | | | 14 | 9 | 6 |

平成 23 年度は、3 月から 8 月までの利用実績に基づいた月平均。

サ 福祉用具貸与（介護予防を含む）

心身の機能低下により日常生活に支障のある高齢者に対し、日常生活の自立を助けるために、福祉用具を貸与します。

【現状】

平成 18 年度に福祉用具貸与の基準改正により、要支援又は要介護 1 の軽度者は、車いすや介護用特殊寝台等は、一定の条件に該当する人を除き利用できなくなりましたが、高齢化による対象者の増加や介護保険制度の浸透により、全体の利用件数は、平成 21 年度の 7,406 件から平成 22 年度には 7,983 件となり、増加傾向にあります。

【課題】

利用者のニーズに合った福祉用具が適切に選択・利用されるよう、地域包括支援センターや居宅介護支援事業所などでの相談体制の充実に努めるとともに、福祉用具の相談に当たる人材の育成を図ることが必要です。

福祉用具貸与の利用状況

| | 平成 21 年度 | | 平成 22 年度 | | 平成 23 年度(見込) | |
|--------------|----------|------|----------|------|--------------|------|
| 事業所数(圏域) | 3(15) | | 3(15) | | 3(15) | |
| 利用件数 (介護) | 計画 | 計画比 | 計画 | 計画比 | 計画 | 計画比 |
| | 5,448 | | 5,508 | | 6,096 | |
| | 実績 | 111% | 実績 | 115% | 実績 | 113% |
| | 6,021 | | 6,334 | | 6,908 | |
| 利用件数 (予防) | 計画 | 計画比 | 計画 | 計画比 | 計画 | 計画比 |
| | 1,164 | | 1,236 | | 1,332 | |
| | 実績 | 119% | 実績 | 133% | 実績 | 121% |
| | 1,385 | | 1,649 | | 1615 | |

平成 23 年度は、3 月から 8 月までの利用実績に基づいた推計値。

シ 特定福祉用具購入費の支給（介護予防を含む）

要援護高齢者が、日常生活に支障がある部分を補い、自立した生活を継続する目的で特定福祉用具を購入した場合に、1 年間 10 万円を上限に、申請によりその費用の 9 割を支給します。

【現状】

平成 18 年度から、特定福祉用具購入費の支給は、利用者に対する適切なアドバイスができる福祉用具専門相談員を配置した指定事業所からの購入のみが対象となりました。利用件数は、平成 21 年度の 248 件から平成 22 年度には 270 件となり、増加している傾向にあります。

【課題】

利用者のニーズに合った福祉用具が適切に選択され利用されるよう、地域包括支援センター等での相談体制の充実に努めるとともに、福祉用具の相談にあたる人材の育成を図ることが必要です。

特定福祉用具購入費の支給状況

| | 平成 21 年度 | | 平成 22 年度 | | 平成 23 年度(見込) | |
|--------------|----------|-----|----------|-----|--------------|-----|
| 事業所数(圏域) | 4(13) | | 3(12) | | 3(12) | |
| 利用件数 (介護) | 計画 | 計画比 | 計画 | 計画比 | 計画 | 計画比 |
| | 228 | | 228 | | 240 | |
| | 実績 | 76% | 実績 | 82% | 実績 | 84% |
| | 173 | | 187 | | 201 | |
| 利用件数 (予防) | 計画 | 計画比 | 計画 | 計画比 | 計画 | 計画比 |
| | 84 | | 84 | | 84 | |
| | 実績 | 89% | 実績 | 99% | 実績 | 83% |
| | 75 | | 83 | | 70 | |

平成 23 年度は、3 月から 8 月までの利用実績に基づいた推計値。

ス 住宅改修費の支給

要援護高齢者が、日常生活に支障がある部分を補い、自立した生活を継続する目的で住宅改修をした場合、20 万円を上限に、申請によりその費用の 9 割を支給します。

【現状】

平成 18 年度から、住宅改修を行う場合に工事内容の適正化のため、事前申請制度が導入され、施工内容の確認を行っています。また、平成 20 年度から、改修工事の適正化を図るため、必要に応じて現地確認も行っています。

利用件数は、平成 21 年度の 243 件から平成 22 年度には 285 件と増加傾向にあります。

【課題】

利用者の心身の状況や住環境に配慮し、適切な改修工事ができるよう、地域包括支援センター等での相談体制の充実に努めるとともに、福祉住環境コーディネーターなどの住宅改修の相談にあたる人材の育成を図ることが必要です。

住宅改修費の支給状況

| | 平成 21 年度 | | 平成 22 年度 | | 平成 23 年度(見込) | |
|--------------|----------|------|----------|------|--------------|------|
| 利用件数 (介護) | 計画 | 計画比 | 計画 | 計画比 | 計画 | 計画比 |
| | 144 | | 144 | | 156 | |
| | 実績 | 107% | 実績 | 125% | 実績 | 154% |
| | 155 | | 180 | | 240 | |
| 利用件数 (予防) | 計画 | 計画比 | 計画 | 計画比 | 計画 | 計画比 |
| | 72 | | 72 | | 84 | |
| | 実績 | 122% | 実績 | 146% | 実績 | 100% |
| | 88 | | 105 | | 84 | |

平成 23 年度は、3 月から 8 月までの利用実績に基づいた推計値。

セ 居宅介護支援（介護予防支援）

要介護又は要支援認定を受けた者に対し、心身の状況やその置かれている環境等に応じて、要介護者等の選択に基づき、適切な保健・医療・福祉サービスが多様な事業者から総合的かつ効率的に提供されるよう、ケアプランの作成やサービス提供機関との連絡調整を行います。

【現状】

介護サービスの基となる居宅介護支援事業所等のケアプラン作成において、利用者が適正な介護サービスを受けられるよう、ケアプラン評価事業を行っています。また、ケアマネジャーの質の向上を図るために、保健・医療・介護・福祉等に関する各種勉強会を兼ねた連絡会を開催しています。

利用者数は、認定者数の増加に伴い、平成 21 年度の 1,498 人から平成 22 年度には 1,566 人に増えており、計画値を上回っています。

【課題】

今後は、要介護者が増加することが見込まれ、サービス必要量も増加することが予想されることから、ケアマネジャーの質の向上を図るとともに、利用者の状態に応じた介護保険サービス以外のサービスを含めた総合的なマネジメントの提供を行う必要があります。また、ケアプランを作成するケアマネジャーは、介護保険を運営する要であり、専門性・中立性の確保や担当ケースのサービス適正化に取り組むとともに、利用者との信頼関係を構築するための環境整備を図っていく必要があります。

居宅介護支援（ケアプラン作成）の利用状況（月平均）

| | 平成 21 年度 | | 平成 22 年度 | | 平成 23 年度(見込) | |
|--------------|-------------|------|-------------|------|--------------|------|
| | 計画 | 計画比 | 計画 | 計画比 | 計画 | 計画比 |
| 利用者数 (介護) | 988 | 101% | 896 | 121% | 1,044 | 116% |
| | 実績 1,001 | | 実績 1,086 | | 実績 1,216 | |
| 利用者数 (予防) | 524 | 95% | 542 | 89% | 563 | 88% |
| | 実績 497 | | 実績 480 | | 実績 493 | |

平成 23 年度は、3 月から 8 月までの利用実績に基づいた月平均。

居宅介護（介護予防）支援事業所の指定状況 平成 23 年 11 月現在

| | 地域包括支援センター | 社会福祉協議会 | 社会福祉法人 | 医療法人 | 薬局 | 民間事業者 | その他 | 計 |
|------|------------|---------|--------|------|----|-------|-----|----|
| 事業所数 | 1 | 1 | 4 | 4 | 1 | 12 | 1 | 24 |

(2) 地域密着型サービス

身近な地域でサービスが利用できるよう、日常生活圏域を設定して小規模多機能型サービス等の整備を図るなど、地域の実情に即したきめ細やかなサービスが提供できる体制づくりを行っています。

ア 認知症対応型通所介護（介護予防を含む）

認知症高齢者がデイサービスセンターなどに通い、食事、入浴、排泄などの日常生活の支援や機能訓練を受けます。

【現状】

高齢化に伴う認知症高齢者の増加により、利用回数は平成21年度の10,332回から平成22年度には12,609回となり、年々増加しています。

【課題】

高齢化の進展に伴い、認知症高齢者の増加が見込まれます。今後とも、利用者ニーズを踏まえ、計画的に基盤整備を図る必要があります。

認知症対応型通所介護の利用状況

| | 平成21年度 | | 平成22年度 | | 平成23年度(見込) | |
|--------------|--------|------|--------|------|------------|------|
| 事業者数 | 6 | | 8 | | 9 | |
| 利用回数 (介護) | 計画 | 計画比 | 計画 | 計画比 | 計画 | 計画比 |
| | 11,791 | | 13,201 | | 14,610 | |
| | 実績 | 88% | 実績 | 95% | 実績 | 99% |
| | 10,332 | | 12,555 | | 14,495 | |
| 利用回数 (予防) | 計画 | 計画比 | 計画 | 計画比 | 計画 | 計画比 |
| | ----- | | ----- | | ----- | |
| | 実績 | ---% | 実績 | ---% | 実績 | ---% |
| | 0 | | 54 | | 78 | |

平成23年度は、3月から8月までの利用実績に基づいた推計値。

イ 認知症対応型共同生活介護（介護予防を含む）〔認知症高齢者グループホーム〕

認知症高齢者が共同生活をしながら、食事、入浴、排泄などの日常生活の支援や機能訓練を受けます。

【現状】

平成23年度までに8施設(15ユニット、135人)の施設整備を完了しています。利用者数は、施設整備により平成21年度の96人から平成22年度には100人となり、増加傾向にあります。

【課題】

高齢化の進展に伴い、認知症高齢者の増加が見込まれています。今後とも、計画的に施設整備を図っていく必要があります。

認知症対応型共同生活介護（認知症高齢者グループホーム）の利用状況

| | 平成 21 年度 | | 平成 22 年度 | | 平成 23 年度(見込) | |
|--------------|----------|------|----------|------|--------------|------|
| 施設数(圏域) | 6(26) | | 7(28) | | 8(29) | |
| 利用者数 (介護) | 計画 | 計画比 | 計画 | 計画比 | 計画 | 計画比 |
| | 92 | | 128 | | 129 | |
| | 実績 | 103% | 実績 | 77% | 実績 | 102% |
| | 95 | | 99 | | 132 | |
| 利用者数 (予防) | 計画 | 計画比 | 計画 | 計画比 | 計画 | 計画比 |
| | ----- | | ----- | | ----- | |
| | 実績 | ---% | 実績 | ---% | 実績 | ---% |
| | 1 | | 1 | | 0 | |

平成 23 年度は、3 月から 8 月までの利用実績に基づいた月平均。

ウ 小規模多機能型居宅介護（介護予防を含む）

「通い」を中心に利用者の様態や希望などに応じ、随時「訪問」、「泊まり」を組み合わせて行うサービスで、在宅生活の継続を支援するものです。

【現状】

平成 22 年度に市内 1 か所（小野田地区）に小規模多機能型居宅介護事業所を整備しました。利用回数は平成 21 年度の 12,688 回から平成 22 年度 13,597 回となり増加しています。

【課題】

在宅生活を支援する要として、多様化する利用者ニーズに応じる多機能なサービスであることから、今後も日常生活圏域ごとに地域のニーズを精査しながら整備を進めていく必要があります。

小規模多機能型居宅介護の利用状況

| | 平成 21 年度 | | 平成 22 年度 | | 平成 23 年度(見込) | |
|--------------|----------|------|----------|------|--------------|------|
| 施設数 | 2 | | 3 | | 3 | |
| 利用回数 (介護) | 計画 | 計画比 | 計画 | 計画比 | 計画 | 計画比 |
| | 11,424 | | 16,932 | | 17,340 | |
| | 実績 | 111% | 実績 | 79% | 実績 | 99% |
| | 12,688 | | 13,436 | | 17,290 | |
| 利用回数 (予防) | 計画 | 計画比 | 計画 | 計画比 | 計画 | 計画比 |
| | ----- | | ----- | | ----- | |
| | 実績 | ---% | 実績 | ---% | 実績 | ---% |
| | ----- | | 161 | | 127 | |

平成 23 年度は、3 月から 8 月までの利用実績に基づいた推計値。

エ 夜間対応型訪問介護

夜間対応型訪問介護は、夜間に定期的に巡回して行う従来の訪問介護に加え、利用者の求めに応じて随時対応するオペレーションセンターサービスなどの随時行う訪問介護を組み合わせるサービスです。

【現状】

現在、夜間対応型訪問介護を行っている事業所はありません。なお、市内の訪問介護事業所で24時間態勢をとっている事業所はありますが、現在、ケアプランに基づいた夜間の定期的な巡回の利用者はありません。

【課題】

一人暮らしや夫婦のみの高齢者の利用が見込まれる一方、サービスとして成り立つためには、一定の地域内で利用者を相当数確保する必要があることから、地域のニーズを精査しながら整備を推進する必要があります。また、平成24年度からは、訪問介護と訪問看護を組み合わせる24時間体制で支援を行っていく定期巡回・随時対応サービスが創設される予定ですので、この新規のサービスとの役割分担や利用者ニーズを踏まえた上で、整備を検討することになります。

オ 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護

地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護は定員29名以下の小規模な特別養護老人ホームです。

【現状】

平成22年度に定員20名の地域密着型介護老人福祉施設を1か所整備しましたが、この施設は平成23年4月に増床され、定員60名の広域型の特別養護老人ホームになったため、現在、地域密着型介護老人福祉施設は市内にはありません。

地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護の利用状況

| | 平成21年度 | | 平成22年度 | | 平成23年度(見込) | |
|--------------|--------|-----|--------|-----|------------|-----|
| | 計画 | 計画比 | 計画 | 計画比 | 計画 | 計画比 |
| 利用者数 (介護) | ----- | | ----% | | ----- | |
| | 実績 | 実績 | | 実績 | | |
| | ----- | | 20 | | ----- | |

カ 地域密着型特定施設入居者生活介護

地域密着型特定施設入居者生活介護は定員29名以下の小規模な特定施設です。

【現状】

現在、市内にケアハウス2施設と外部利用型の養護老人ホーム2施設があるため、地域密着型特定施設入所者生活介護施設は整備していません。

(3) 施設サービス

ア 介護老人福祉施設〔特別養護老人ホーム〕

【現状】

療養病床の転換計画に伴い、その受け皿を整備する必要があるため、平成23年度に1か所(定員60人)整備を行い、現在市内に4施設(定員306人)の特別養護老人ホームがあります。また、宇部・小野田福祉圏域では、15施設(定員1,148人)が整備されています。

【課題】

待機期間の長期化が問題となっていますが、緊急度や介護環境を考慮した入所基準の見直しや、他の介護保険施設の利用、在宅介護サービスの充実などを含め、介護度の高い待機者の解消に努める必要があります。

介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)の利用状況

| | 平成21年度 | | 平成22年度 | | 平成23年度(見込) | |
|--------------|-----------|-----|-----------|-----|------------|-----|
| | 計画 | 計画比 | 計画 | 計画比 | 計画 | 計画比 |
| 利用者数 (介護) | 266 | 97% | 326 | 82% | 326 | 92% |
| | 実績 258 | | 実績 267 | | 実績 301 | |

平成23年度は、3月から8月までの利用実績に基づいた月平均。

イ 介護老人保健施設〔老人保健施設〕

【現状】

老人保健施設は、平成22年度に1か所(定員20人)整備を行い、現在市内に3施設(定員180人)となっています。また、圏域では、10施設(定員790人)が整備されています。

【課題】

老人保健施設は、本来在宅復帰を目指す短期入所型の施設ですが、現状では在宅生活が困難な身体状況の方や、家庭に戻れない事情がある方など長期療養を余儀なくされている事例も見受けられます。今後、在宅サービスの基盤整備を行い、老人保健施設が本来の施設機能を果たしていくことが必要です。また、療養病床の転換計画により介護療養型医療施設が将来的には廃止されることに伴い、その受け皿として、老人保健施設への転換を推進する必要があります。

介護老人保健施設(老人保健施設)の利用状況

| | 平成21年度 | | 平成22年度 | | 平成23年度(見込) | |
|--------------|-----------|-----|-----------|-----|------------|-----|
| | 計画 | 計画比 | 計画 | 計画比 | 計画 | 計画比 |
| 利用者数 (介護) | 223 | 98% | 269 | 87% | 327 | 74% |
| | 実績 218 | | 実績 234 | | 実績 242 | |

平成23年度は、3月から8月までの利用実績に基づいた月平均。

ウ 介護療養型医療施設〔療養型病床群〕

【現状】

現在、市内では1施設(12床)が指定を受けており、宇部・小野田圏域では、7施設(565床)となっています。また、療養病床の転換計画に伴い、平成22年4月に病床数が20床から12床に削減されています。

【課題】

療養病床の転換に伴い、将来的には介護療養型医療施設が廃止されることから、その受け皿となる特別養護老人ホームや老人保健施設等の整備を計画的に行っていく必要があります。

なお、医療の必要性の高い高齢者等には、医療保険による療養型医療施設での診療も引き続き行われます。

介護療養型医療施設（療養型病床群）の利用状況

| | 平成21年度 | | 平成22年度 | | 平成23年度(見込) | |
|--------------|----------|-----|----------|-----|------------|------|
| | 計画 | 計画比 | 計画 | 計画比 | 計画 | 計画比 |
| 利用者数 (介護) | 68 | 97% | 62 | 92% | 24 | 158% |
| | 実績 66 | | 実績 57 | | 実績 38 | |

平成23年度は、3月から8月までの利用実績に基づいた月平均。

2 サービス基盤の現状

日常生活圏域別の老人福祉施設の整備状況は、平成22年度に小野田地区にグループホームと小規模多機能型居宅介護施設を、厚狭地区に特別養護老人ホームと介護老人保健施設、グループホームを整備しています。今後も、各圏域で均衡が取れた施設整備を行っていく必要があります。

(1) 居住系サービス

| 日常生活圏域 | 項 目 | 平成21年度 | 平成22年度 | 平成23年度 | 平成23年度 高齢者人口等 |
|--------|--------------|---------|---------|---------|------------------|
| 竜 王 | 特別養護老人ホーム | | | | 高齢者人口 2,277人 |
| | 老人保健施設 | 1 (100) | 1 (100) | 1 (100) | |
| | 介護療養型施設 | 1 (20) | 1 (12) | 1 (12) | 認定者数 393人 |
| | ケアハウス（特定を含む） | | | | |
| | グループホーム | 1 (18) | 1 (18) | 1 (18) | |
| | 養護老人ホーム | | | | |
| 小野田 | 特別養護老人ホーム | 1 (82) | 1 (82) | 1 (82) | 高齢者人口 4,119人 |
| | 老人保健施設 | | | | |
| | 介護療養型施設 | | | | 認定者数 770人 |
| | ケアハウス（特定を含む） | | | | |
| | グループホーム | | 1 (18) | 1 (18) | |
| | 養護老人ホーム | 1 (50) | 1 (50) | 1 (50) | |
| 高千帆 | 特別養護老人ホーム | 1 (84) | 1 (84) | 1 (84) | 高齢者人口 5,242人 |
| | 老人保健施設 | | | | |
| | 介護療養型施設 | | | | 認定者数 861人 |
| | ケアハウス（特定を含む） | 1 (30) | 1 (30) | 1 (30) | |
| | グループホーム | 2 (36) | 2 (36) | 2 (36) | |
| | 養護老人ホーム | | | | |
| 厚 狭 | 特別養護老人ホーム | | 1 (60) | 1 (60) | 高齢者人口 3,609人 |
| | 老人保健施設 | 1 (60) | 2 (80) | 2 (80) | |
| | 介護療養型施設 | | | | 認定者数 622人 |
| | ケアハウス（特定を含む） | | | | |
| | グループホーム | 1 (18) | 2 (36) | 2 (36) | |
| | 養護老人ホーム | | | | |
| 厚 陽 | 特別養護老人ホーム | | | | 高齢者人口 787人 |
| | 老人保健施設 | | | | |
| | 介護療養型施設 | | | | 認定者数 137人 |
| | ケアハウス（特定を含む） | | | | |
| | グループホーム | 1 (18) | 1 (18) | 1 (18) | |
| | 養護老人ホーム | | | | |
| 埴 生 | 特別養護老人ホーム | 1 (80) | 1 (80) | 1 (80) | 高齢者人口 1,815人 |
| | 老人保健施設 | | | | |
| | 介護療養型施設 | | | | 認定者数 304人 |
| | ケアハウス（特定を含む） | 1 (40) | 1 (40) | 1 (40) | |
| | グループホーム | 1 (9) | 1 (9) | 1 (9) | |
| | 養護老人ホーム | 1 (50) | 1 (50) | 1 (50) | |

第4章 介護保険事業の現状

| | | | | | |
|-----|--------------|----------|----------|----------|------------------|
| 合 計 | 特別養護老人ホーム | 3 (246) | 4 (306) | 4 (306) | 高齢者人口 17,849人 |
| | 老人保健施設 | 2 (160) | 3 (180) | 3 (180) | |
| | 介護療養型施設 | 1 (20) | 1 (12) | 1 (12) | |
| | 介護保険3施設合計 | 6 (426) | 8 (498) | 8 (498) | 認定者数 3,087人 |
| | ケアハウス(特定を含む) | 2 (70) | 2 (70) | 2 (70) | |
| | グループホーム | 6 (99) | 8 (135) | 8 (135) | |
| | 施設・居住系施設合計 | 14 (595) | 18 (703) | 18 (703) | |
| | 養護老人ホーム | 2 (100) | 2 (100) | 2 (100) | |

表中の各年度の数値は施設の数を表示、右の()内の数値は、床数を表しています。施設整備状況の平成21、22年度は年度末、平成23年度は8月1日現在の数値。

平成23年度の日常生活圏域別高齢者人口等は、10月1日現在の数値。認定者には、住所地特例該当者(市外に住所があるが、山陽小野田市の被保険者である者)は含まれていない。

(2) 居宅系サービス

| 日常生活圏域 | 項 目 | 平成21年度 | 平成22年度 | 平成23年度 | 給付額 | 割合 |
|--------|-------------|--------|--------|--------|------------|-------|
| 竜 王 | 居宅介護支援 | 2 | 2 | 2 | 1,971,792 | 13.9% |
| | 訪問介護 | | | | 2,191,311 | 16.7% |
| | 訪問入浴 | | | | 281,250 | 44.1% |
| | 訪問看護 | | | | 296,226 | 10.2% |
| | 訪問リハビリテーション | | | | 711,909 | 24.3% |
| | 通所介護 | 3 | 5 | 6 | 7,271,622 | 11.5% |
| | 通所リハビリテーション | 1 | 1 | 1 | 4,952,088 | 21.2% |
| | 福祉用具貸与 | | | | 944,037 | 12.4% |
| | 短期入所生活介護 | | | | 865,863 | 6.1% |
| | 短期入所療養介護 | 1 | 1 | 1 | 1,058,994 | 54.0% |
| | 認知症対応型通所介護 | 1 | 1 | 2 | 2,160,486 | 19.0% |
| | 小規模多機能型居宅介護 | 1 | 1 | 1 | 2,746,017 | 27.7% |
| 小野田 | 居宅介護支援 | 5 | 5 | 5 | 3,514,662 | 24.7% |
| | 訪問介護 | 2 | 2 | 2 | 3,484,215 | 26.5% |
| | 訪問入浴 | | | | 187,875 | 29.5% |
| | 訪問看護 | 1 | 1 | 1 | 695,961 | 23.9% |
| | 訪問リハビリテーション | | | | 960,696 | 32.8% |
| | 通所介護 | 5 | 7 | 7 | 15,760,422 | 25.0% |
| | 通所リハビリテーション | 1 | 1 | 1 | 4,250,889 | 18.2% |
| | 福祉用具貸与 | 1 | 1 | 1 | 1,752,093 | 23.1% |
| | 短期入所生活介護 | 1 | 1 | 1 | 3,282,984 | 23.0% |
| | 短期入所療養介護 | | | | 305,298 | 15.6% |
| | 認知症対応型通所介護 | | 2 | 2 | 3,759,021 | 33.1% |
| | 小規模多機能型居宅介護 | | 1 | 1 | 1,714,050 | 17.3% |
| 高千帆 | 居宅介護支援 | 7 | 7 | 7 | 3,987,927 | 28.0% |
| | 訪問介護 | 5 | 5 | 6 | 3,528,054 | 26.9% |
| | 訪問入浴 | | | | 90,000 | 14.1% |
| | 訪問看護 | 1 | 1 | 1 | 1,266,534 | 43.6% |
| | 訪問リハビリテーション | | | | 509,886 | 17.4% |
| | 通所介護 | 7 | 7 | 8 | 19,961,010 | 31.7% |
| | 通所リハビリテーション | 1 | 1 | 1 | 4,924,593 | 21.1% |
| | 福祉用具貸与 | 1 | 1 | 1 | 2,147,382 | 28.3% |
| | 短期入所生活介護 | 1 | 1 | 1 | 3,688,830 | 25.9% |
| | 短期入所療養介護 | | | | 28,809 | 1.5% |
| | 認知症対応型通所介護 | 5 | 4 | 4 | 3,775,824 | 33.3% |
| | 小規模多機能型居宅介護 | | | | 2,115,972 | 21.3% |

第4章 介護保険事業の現状

| | | | | | | |
|-----|-------------|----|----|----|------------|--------|
| 厚 狭 | 居宅介護支援 | 8 | 8 | 9 | 2,940,120 | 20.7% |
| | 訪問介護 | 5 | 5 | 5 | 2,443,959 | 18.6% |
| | 訪問入浴 | 1 | | | 33,750 | 5.3% |
| | 訪問看護 | 1 | 1 | 1 | 467,028 | 16.1% |
| | 訪問リハビリテーション | 1 | 1 | 1 | 359,208 | 12.3% |
| | 通所介護 | 5 | 5 | 5 | 13,297,860 | 21.1% |
| | 通所リハビリテーション | 2 | 2 | 3 | 5,295,762 | 22.7% |
| | 福祉用具貸与 | | | | 1,599,741 | 21.1% |
| | 短期入所生活介護 | 1 | 2 | 3 | 3,332,925 | 23.4% |
| | 短期入所療養介護 | 1 | 2 | 2 | 456,417 | 23.3% |
| | 認知症対応型通所介護 | | | | 789,372 | 7.0% |
| | 小規模多機能型居宅介護 | | | | 1,285,650 | 13.0% |
| 厚 陽 | 居宅介護支援 | | | | 638,010 | 4.5% |
| | 訪問介護 | | | | 600,552 | 4.6% |
| | 訪問入浴 | | | | 0 | 0.0% |
| | 訪問看護 | | | | 79,947 | 2.7% |
| | 訪問リハビリテーション | | | | 140,427 | 4.8% |
| | 通所介護 | | | | 2,287,431 | 3.6% |
| | 通所リハビリテーション | | | | 1,311,768 | 5.6% |
| | 福祉用具貸与 | | | | 465,057 | 6.1% |
| | 短期入所生活介護 | | | | 953,163 | 6.7% |
| | 短期入所療養介護 | | | | 0 | 0.0% |
| | 認知症対応型通所介護 | 1 | 1 | 1 | 748,269 | 6.6% |
| | 小規模多機能型居宅介護 | 1 | 1 | 1 | 1,136,475 | 11.5% |
| 埴 生 | 居宅介護支援 | 1 | 1 | 1 | 1,170,198 | 8.2% |
| | 訪問介護 | 1 | 1 | 1 | 878,049 | 6.7% |
| | 訪問入浴 | | | | 45,000 | 7.1% |
| | 訪問看護 | | | | 102,042 | 3.5% |
| | 訪問リハビリテーション | | | | 246,096 | 8.4% |
| | 通所介護 | 2 | 2 | 2 | 4,479,426 | 7.1% |
| | 通所リハビリテーション | | | | 2,581,749 | 11.1% |
| | 福祉用具貸与 | 1 | 1 | 1 | 677,772 | 8.9% |
| | 短期入所生活介護 | 1 | 1 | 1 | 2,126,124 | 14.9% |
| | 短期入所療養介護 | | | | 111,348 | 5.7% |
| | 認知症対応型通所介護 | | | | 110,682 | 1.0% |
| | 小規模多機能型居宅介護 | | | | 927,162 | 9.3% |
| 合 計 | 居宅介護支援 | 23 | 23 | 24 | 14,222,709 | 100.0% |
| | 訪問介護 | 13 | 13 | 14 | 13,126,140 | 100.0% |
| | 訪問入浴 | 1 | 0 | 0 | 637,875 | 100.0% |
| | 訪問看護 | 3 | 3 | 3 | 2,907,738 | 100.0% |
| | 訪問リハビリテーション | 1 | 1 | 1 | 2,928,222 | 100.0% |
| | 通所介護 | 22 | 26 | 28 | 63,057,771 | 100.0% |
| | 通所リハビリテーション | 5 | 5 | 6 | 23,316,849 | 100.0% |
| | 福祉用具貸与 | 3 | 3 | 3 | 7,586,082 | 100.0% |
| | 短期入所生活介護 | 4 | 5 | 6 | 14,249,889 | 100.0% |
| | 短期入所療養介護 | 2 | 3 | 3 | 1,960,866 | 100.0% |
| | 認知症対応型通所介護 | 6 | 8 | 9 | 11,343,654 | 100.0% |
| | 小規模多機能型居宅介護 | 2 | 3 | 3 | 9,925,326 | 100.0% |

日常生活圏域別事業者数は平成21、22年度は年度末、平成23年度は8月1日現在の数値。

給付額は平成23年4月のサービスごとの利用額、割合はその地区別割合。

訪問看護と訪問リハビリテーションは、医療機関によるサービス提供は含んでいない。